TADOKU JUNIOR やさしい名作リーダー ★★★☆☆ ふつう 327語

The Little Pine Tree

小さなマツの木

E. Louise Smythe（1904年の本） 原文そのまま 朗読：Sarah Jennings、Abby

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？ はりのような葉っぱがいやな小さなマツの木。金の葉っぱ、ガラスの葉っぱ、みどりの葉っぱと、ようせいにねがいをかなえてもらいますが、そのたびに……。

A little pine tree was in the woods.

It had no leaves. It had needles.

The little tree said, "I do not like needles. All the other trees in the woods have pretty leaves. I want leaves, too. But I will have better leaves. I want gold leaves."

Night came and the little tree went to sleep. A fairy came by and gave it gold leaves.



When the little tree woke it had leaves of gold.

It said, "Oh, I am so pretty! No other tree has gold leaves."

Night came.

A man came by with a bag. He saw the gold leaves. He took them all and put them into his bag.

The poor little tree cried, "I do not want gold leaves again. I will have glass leaves."

So the little tree went to sleep. The fairy came by and put the glass leaves on it.

The little tree woke and saw its glass leaves.

How pretty they looked in the sunshine! 'No other tree was so bright.

Then a wind came up. It blew and blew.

The glass leaves all fell from the tree and were broken.

Again the little tree had no leaves. It was very sad, and said, "I will not have gold leaves and I will not have glass leaves. I want green leaves. I want to be like the other trees."

And the little tree went to sleep. When it woke, it was like other trees. It had green leaves.

A goat came by. He saw the green leaves on the little tree. The goat was hungry and he ate all the leaves.



Then the little tree said, "I do not want any leaves. I will not have green leaves, nor glass leaves, nor gold leaves. I like my needles best."



And the little tree went to sleep. The fairy gave it what it wanted.

When it woke, it had its needles again. Then the little pine tree was happy.

和訳 小さなマツの木（The Little Pine Tree）

森に、小さなマツの木がありました。

マツの木には、ふつうの葉っぱがありませんでした。はりのような葉っぱがあったのです。

小さな木は言いました。「はりみたいな葉っぱなんていやだな。森のほかの木は、みんなきれいな葉っぱをつけているのに。ぼくも葉っぱがほしい。でも、もっとすてきな葉っぱがいいな。金の葉っぱがほしい。」

夜になって、小さな木はねむりました。ようせいが通りかかって、金の葉っぱをくれました。

小さな木が目をさますと、金の葉っぱがついていました。

木は言いました。「わあ、ぼく、とってもきれい！金の葉っぱの木なんて、ほかにはないぞ。」

夜になりました。

ふくろを持った男の人が通りかかりました。男の人は、金の葉っぱを見つけました。そして、のこらずとって、ふくろに入れてしまいました。

かわいそうな小さな木はなきました。「金の葉っぱは、もういらない。ガラスの葉っぱがいいな。」

そこで小さな木はねむりました。ようせいが通りかかって、ガラスの葉っぱをつけてくれました。

小さな木は目をさまして、ガラスの葉っぱを見ました。

お日さまの光の中で、なんてきれいに見えたことでしょう！こんなにきらきらした木は、ほかにありませんでした。

すると、風がふいてきました。風はびゅうびゅうふきました。

ガラスの葉っぱは、みんな木から落ちて、われてしまいました。

小さな木は、また葉っぱがなくなってしまいました。木はとても悲しくなって言いました。「金の葉っぱもいらないし、ガラスの葉っぱもいらない。みどりの葉っぱがほしい。ほかの木と同じになりたいんだ。」

そして小さな木はねむりました。目をさますと、ほかの木と同じになっていました。みどりの葉っぱがついていたのです。

ヤギが通りかかりました。ヤギは、小さな木のみどりの葉っぱを見つけました。ヤギはおなかがすいていたので、葉っぱをのこらず食べてしまいました。

そこで小さな木は言いました。「もう、葉っぱなんかいらない。みどりの葉っぱも、ガラスの葉っぱも、金の葉っぱもいらない。ぼくは、自分のはりみたいな葉っぱがいちばん好きだ。」

そして小さな木はねむりました。ようせいは、木のほしいものをくれました。

目をさますと、木にはまた、はりのような葉っぱがついていました。それで、小さなマツの木は幸せになりました。

たんご と クイズ 小さなマツの木

pine tree マツの木	**needles** はりのような葉	**gold** 金
fairy ようせい	**bag** ふくろ	**glass** ガラス
goat ヤギ		

Q1 金の葉っぱは、どうなってしまいましたか？

① 風でちってしまった　② ヤギに食べられた　③ 男の人がふくろに入れて持っていった

Q2 ガラスの葉っぱは、どうしてなくなってしまったの？

① ヤギが食べたから　② 風で落ちてわれたから　③ 男の人がとったから

Q3 さいごに、小さなマツの木がいちばん好きだと思ったのは？

① 自分のはりのような葉っぱ　② 金の葉っぱ　③ ガラスの葉っぱ

こたえ

Q1 ③ ふくろを持った男の人が来て、金の葉っぱをのこらずとって、ふくろに入れてしまいました。

Q2 ② 風がびゅうびゅうふいて、ガラスの葉っぱはみんな木から落ちて、われてしまいました。

Q3 ① いろいろためしたあと、マツの木は「自分のはりみたいな葉っぱがいちばん好き」と気がつきました。

原田英語の多読ベストジュニア

本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。

haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典 英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #7841（E. Louise Smythe、1904年）。パブリックドメイン。
挿絵：(1904 edition)（同じ本の初版の挿絵。パブリックドメイン）
朗読（Web版）：Sarah Jennings、Abby（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）
和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは 3 重チェック。人の目でも順次確認しています。